

2024/05/11

こんにちは 牧みゆきです。

風薫る爽やかな初夏の季節のもと、議員2年目を迎えました。市政をわかりやすく伝える活動はそのままに、よりの確な問題提起と提案を目指し、幅広く活動をしながら日々勉強を重ねて参ります。



西宮市議会議員

牧みゆき

3月定例会を終えて

3月定例会では予算や人事の審議等が行われ、主に1年間の市政の方針や財政構造改善について議論されました。私が常任委員会での質疑の他、議場で行った質問・意見討論は次の3つです。

- ・新型コロナワクチン接種の臨時接種から定期接種への移行にともなう広報とフォロー体制について
 - ・コロナ禍の4年間の感染症対策の検証と見直しの必要性について
 - ・ゼロカーボンシティ推進事業の交付金申請内容と決定について
- それぞれの項目についてお伝えします。

3月定例会の発言動画

本会議質疑
1分30秒～
約5分間



本会議討論
1時間29分～
約7分間



過去の関連発言

一般質問
12月・6月



小児
コロナワクチン
意見書可決
開始50分～
約20分間



ゼロカーボンシティ推進事業について

令和6年度の主要な事業に含まれるゼロカーボンシティ推進事業は、「地域脱炭素移行・再エネ推進交付金を活用し、二酸化炭素排出量削減に資する事業を進め、ゼロカーボンシティの実現を図る」として、3月に国へ交付金申請がされています（採否は未定）。申請内容は個人宅屋根における太陽光発電の補助、エネファーム導入補助、LED、太陽光発電、蓄電池の公共施設への導入、そしてオフサイトPPA（発電事業者との電力購入契約）による野外設置太陽光発電設備の建設と運用が含まれています。国の交付金での事業計画は5年間で、太陽光発電業者との契約は20年の長期契約。予備電源の確保や再エネ推進に寄与するとされる一方、野外ソーラー発電による周辺住民、環境、生態系への影響、災害時の二次被害、廃棄処理などにも懸念があり、また、エネルギー供給の不安定さ、価格の変動、維持管理のためのメンテナンスの頻度など不確定な要素も多く、将来的に市民に負担を強いる可能性も考えられます。

二酸化炭素の排出削減は世界的に求められていますが、その費用対効果のバランスを欠けばそもそもの目的である「持続可能性」から大きく外れてしまうため、計画や契約の決定には慎重かつ丁寧な議論が必要であり、市民への説明も丁寧に行われるよう求めました。



お知らせ

図書館の パブコメを考える

6月4日 18時～
夙川公民館

今月、中央図書館の移転整備の構想と計画が示され、市ホームページでも公開し、5月末～6月末の期間中パブリックコメントが募集されます。そこで市政報告と図書館の施策研究の話も交え、パブコメを考える会を開催します。一緒に市の図書館を考えませんか？

詳細申し込みは牧みゆきホームページから(裏面下部にORコードあり)



政治はあなたの暮らしそのものと言っていいほどに自分事。

共に政治を考え、みんなで創っていきませんか？

新型コロナワクチン接種 が定期接種に変わります

2021年に始まった新型コロナワクチンの全額公費による特例臨時接種は、本年3月31日で終了し、4月以降は季節性インフルエンザ予防と同様の定期接種に移行しました(原則有料)。それに伴い、**接種による健康被害が起きた場合の補償内容や給付額が大きく変わります。**

救済制度におけるコロナワクチン接種の健康被害例は、開始から3年でこれまで45年間のワクチン接種の歴史の中で起きたコロナワクチン以外のワクチンの被害例累計の2倍を上回り、今もなお増えています。西宮市でも健康被害や死亡例が認定され手当や一時金が給付されており、本年度予算では、補償額の給付の為に通常の約100倍に相当する約2億円が計上されています(後に国から支給)。

この実態から私は改めて健康被害の周知を図る広報、当事者のフォロー体制の拡充が必要と考え、再度要望しました。さらに、これまでの実施データをもとに約4年のコロナ禍を振り返り、**ワクチン接種を含む感染症対策が市民の命や生活を守るために適切であったかどうか調査検証する必要がある**と考え、自治体として国にそれを求めるよう提起しました。

また国が行ったコロナ対策に疑問や不安が残る中、2月末に閣議決定された地方自治法改正案に、パンデミックを含む緊急事態時に国が自治体に行う指示の拡大が含まれていたことにも重大な懸念を抱いています。

国の今・世界の今と私たち

パンデミック条約・IHR改正反対デモと国家賠償を求める集団提訴

12月定例会の一般質問や本紙第2号でも触れた、パンデミック条約・IHR(国際保健規則)改定の締結が5月末に迫っています。この動きに対し4月13日に東京池袋で反対デモが行われ、1~2万人が参加したと見られています。通常、日本のデモ参加者数は概ね3千~4千人とされ今回のデモは大規模なものと言えます。参加者はワクチンによる健康被害を経験した人だけでなく、子ども達や日本の未来に大きな不安を感じている一般市民が多く含まれていました。このデモは海外の独立系メディアでも報道され、SNS上でも大きな反響がありましたが、日本の主要メディアでは報道されませんでした。また、4月17日には、ワクチン接種後に死亡した人の遺族らが、国が接種を勧める広報を大々的に行う一方で、重篤な副反応や死亡例などリスクに関する十分な情報提供を行わなかったことが公正な判断を妨げたとして、国家賠償を求め集団提訴しました。



予防接種健康被害救済制度の給付額対照表

	臨時接種 (予防接種A類)	定期接種 (予防接種B類)
医療手当 (月額)	3万5,000~3万8,900円	A類疾病の額に準ずる ※入院を要すると認められる場合に必要 な程度の医療に限る。
障害児養育年金 (年額)	1級 約158万~166万円 2級 約126万~133万円 ※条件により介護加算あり。 ※特別児童扶養手当等の額を除く。	A類疾病の額に準ずる ※入院を要すると認められる場合に必要 な程度の医療に限る。
障害年金 (年額)	1級 約505万~534万円 2級 約404万~427万円 3級 約303万~320万円 ※条件により介護加算あり。 ※障害基礎年金等の額を除く。	1級 296万6,400円 2級 237万3,600円
死亡一時金	4420万~4530万円 ※障害年金受給期間により調整あり。	
遺族年金 (年額)		259万4,400円 ※10年を限度として支給。障害年金の 受給期間により支給期間の短縮あり。
遺族一時金		778万3,200円
葬祭料	約21万円	A類疾病の額に準ずる
介護加算 (年額)	1級 約84万 2級 約56万	

※1 令和6年3月31日までにを行った接種は「臨時接種」の対象で、接種により起きたと思われる健康被害や死亡は無期限で申請できます。
※2 入院、通院、死亡が発生した年月により給付額に違いがあります。詳しくは厚生労働省のページよりご確認ください。

牧みゆきとつながる

公式LINE@

まきみゆきcafe →



牧みゆき 西宮市議

牧みゆきホームページ →

(市政報告・パブコメを考える会申し込み)



〒662-8567

西宮市六湛寺町10-3 議員控室

✉ makimiy33@gmail.com